

さいたま市長メッセージ（令和3年8月31日）

皆さん、こんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

本市では、8月29日までの1週間で1879名の新規陽性者が確認されています。

過去最大の感染拡大を経て、現在は、新規陽性者や自宅療養者が高止まりしている状態となっており、今後、再び感染を拡大させないために非常に重要な局面を迎えています。

さて、夏休みも終わり、2学期がスタートしました。

児童生徒の皆さんは、久しぶりに友達と話をしたり、勉強したりすることが楽しみだったと思いますが、中には、新型コロナウイルスの感染拡大で不安や悩みを抱えている人もいます。

もし、困ったことや心配なことがある時には、一人で悩まずに家族や友達、学校の先生や近くの大人、だれでも良いので相談してください。また、自分のことを知っている人に話すのが難しいときには、電話でもメールでも構いません。相談窓口を頼ってください。そして、周りに不安を抱えている友達がいたときには、声を掛けてあげてください。

各ご家庭や児童生徒の周囲の皆様は、お子さんが発するSOSに注意をしながら、お気づきの際には、本人へのお声がけや、学校や関係機関へ相談するなどのご対応をお願いいたします。

未だ、収束が見えない厳しい状況が続きますが、少しでも早く日常を取り戻せるように、本市は、引き続きワクチン接種を加速してまいります。

市民の皆様には、引き続き、お一人おひとりが意識を持って、リスクの高い行動を避けていただき、基本的感染症対策を徹底していただくようお願いいたします。